

千葉県警察 流山警察署

社会学部経営社会
2年 荘司 優花

1. 実習企業（団体）の概要

千葉県警察は、『安全で安心できる県民生活の確保』を掲げ、618万県民の安全で快適な市民社会の実現における重要な役割を担っている。流山警察署は、流山市を管轄する警察署として、昭和61年3月10日、柏警察署流山幹部交番から警察署に格上げされ、発足した千葉県警察が管轄する警察署のひとつである。

- ・交番数 7か所 ・駐在所数 2か所
- ・所在地 千葉県流山市三輪野山744-4
- ・署長 早川 昌宏

2. 実習内容

署長申告体験、警務課長教養、警察の仕事についてDVD教養、交通安全講習会（シルバー人材センター）、警察の装備品について、通常点検（交番勤務の警察官による朝の装備点検）、拾得物教養、車両点検、機動隊装備着体験、大楯操法、不審者侵入対応訓練、鑑識体験（指紋、足跡採取）、移動交番体験、交番体験（流山おおたかの森交番、南流山駅前交番）、東小学校警察署見学準備、東小学校見学対応、術科短時間体験（柔道、剣道）、終了検討会、終了挨拶

3. 実習の成果

インターンシップへ大学の代表として行かせて頂くにあたり、実習中にお世話になる流山警察署の方々に失礼がないよう、丁寧な言葉遣いや元気な挨拶を心掛けました。警察署の方々を見て、小さな気遣いや挨拶の積み重ねで人間関係を築くことができると知り、毎日の集合時間を厳守すること、言われたことへの返事をしっかりとするということが今回のインターンシップで気を付けました。流山警察署でのインターンシップで学んだことを生かして、自分が今後社会で成長していくためにも指導して下さい方や周りの方々への感謝を忘れずにたくさんのお話を学んでいきたいです。

4. 実習の感想

5日間のインターンシップを通して、参加する前よりも警察官という職業について理解を深めることができました。今までは交番にいる制服の警察官が立番やパトロールをしているところしか見たことがなかったため、初日に警察署へ入って事務の仕事をしている職員の方々が多くいることに驚きました。外に出ている警察官よりも警察署内で仕事をされている方のほうが多いということもお話を伺って初めて知りました。機動隊の装備や、交番勤務の方が身に付けているものなど様々な装備を着装させて頂き、私が思っていたよりも普段警察官の方が身に付けているものが多く、ひとつひとつのものが命を守るために頑丈で重くできており、これらの装備を身に付けて毎日勤務されていることが本当にすごいと思いました。移動交番体験では、お年寄りの方々が利用されている施設への訪問に同行させて頂きました。移動交番とは車そのものが交番の役割をしているものことで、地域の方々とどのようにして交流するのか、その場でさまざまな事を教えていただきました。夏場の移動交番は、車の冷房をつけることもできないために暑くて大変だと仰っていましたが、お年寄りの方の悩みや相談を聞くことができたり、地域の方から「ごくろうさまです」と声をかけてもらえることが、移動交番のやりがいだと仰ってました。インターンシップを通してたくさんのお話を聞くことができ、警察官について色々な角度から学ぶことができました。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月1日(月)	署長申告体験、警務課長教養、警察の仕事「DVD教養」、交通安全講習会、警察装備品について、日誌作成
2日目	8月2日(火)	通常点検、拾得物教養、車両点検、機動隊装備着装体験、大楯操法、不審者侵入対応訓練、鑑識体験、日誌作成
3日目	8月4日(木)	通常点検、移動交番体験、交番体験、日誌作成
4日目	8月5日(金)	通常点検、交番体験、移動交番体験、防犯パトロール、日誌作成
5日目	8月10日(水)	通常点検、東小学校警察署見学準備、東小学校見学対応、術科短時間体験(柔道、剣道)、終了検討会、終了挨拶